

# NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年6月10日  
商工中金

## ウイズコロナを見据え事業再構築を行う 太洋開発株式会社様を金融面と情報面から伴走サポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を図りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（高松支店）は、太洋開発株式会社様（本社：香川県高松市、代表者：樋口 高良様）に対し、百十四銀行と協調して、新型コロナウイルス感染症の影響に対応する設備資金等1億4,000万円を期間10年期限一括償還型の資本性劣後ローンで融資しました。なお、本件は、株式会社船井総合研究所と連携して中小企業の事業再構築とマーケティング支援を行う第1号案件です。

同社は、ボウリング場や滞在型リゾート施設等の運営業者です。県内外にボウリング場を構えるとともに岡山県総社市に西日本最大級の屋外プールを備えたサントピア岡山総社を有し、ビジネスからレジャーまで幅広いニーズに対応しています。

同社は、地域の中核施設として婚礼から研修等の多様なニーズに対応し、交流人口の増加に大きく貢献してきました。今回の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の発令を受け、営業時間短縮や施設の休館を余儀なくされましたが、徹底した感染対策を施し万全の体制を整えるとともにグランピング事業参入を核とした事業再構築を計画しました。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを含む綿密な事業性評価を Value up レポート（※）にまとめ、同社の強みや財務上の課題を確認。提携先の船井総研と連携し、既存事業を見直すとともに新たにに取り組むグランピング事業を精緻に調査した総合事業計画の策定をサポート。事業再構築に係る補助金の活用等、複合的なソリューションを提供。同計画を百十四銀行と共有し、民間金融機関が運転資金を、商工中金が資本増強効果のある資本性劣後ローンを活用して、財務基盤の拡充と金融取引体制の強化に貢献しています。

（※）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります

### 【太洋開発株式会社様の概要】

所在地	香川県高松市観光通2-10-15	資本金	1,000万円
代表者	樋口 高良様	従業員数	68名（2021年1月現在）
業種	ボウリング場・複合施設運営	設立	1972年2月